

1/31 [日] ▶ 13:30~15:00

特別企画

★トークライブ『日本とオランダにおける「聾映」とは?』

オランダのろう者が制作し、日本で初めて披露する短編映画『DROOM of ECHT』(『夢か現実か』)も材料にしながら、日本とオランダの“ろう文化”について『聾映(デフムービー)』の視点から議論を展開します。

Profile



おおだて のぶひろ
大館 信広

聴覚障害者
ろう映画制作グループ「デフムービーエンターテインメント プロディア」代表
映画監督

プロディア作品としては7作目。2006年トロント国際ろう映画祭「迂路」大賞 & 最優秀賞を受賞。最近、新作映画『ありとぎりぎりす』を完成。映画作りはすべて独学で身につけ、ろう者による独特の映像表現を追求。ろう者のための映画エンターテインメントを目指している。また、『目で聴くテレビ』のディレクターとして番組作りを手掛けている。

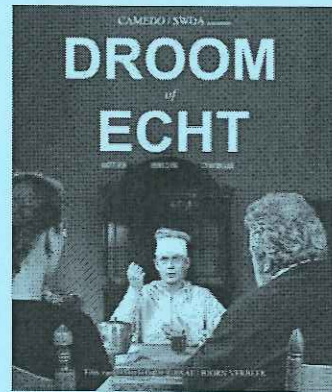


ウォータ ティールン
Wouter Thielen

31歳
聴覚障害者
オランダ ゴータ市出身
現在 東京都在住
日本語取得歴 14年

17歳の頃から日本に憧れを抱く。2006年に初来日し、2008年から念願の日本に移り住む。昨年の夏、大館監督の新作映画『ありとぎりぎりす』に、ろう学校の先生役で初めて出演。日本手話を駆使し、オランダと日本の“ろう世界の架け橋役”を目指している。

★映画『DROOM of ECHT』(『夢か現実か』) [2007年12月/35分]



夢はうそばかり。目覚めても夢のなかにいる...

ある農家に不思議な病気を抱えた人がいた。医者は精神的な病気なのか、患者の話聴きながら原因を調べているうちにだんだんに判明できるようになるが、本当の病気とは?

- 【監督】 Timothy de Graaf (ティモチャー・ド・グラーフ)
- 【副監督】 Bjorn Verbeek-Yanagase (ビヨルン・ヴェルベーク・柳ヶ瀬)
- 【主演者】 患者 = Hendrik de Jong (ヘンドリック・ド・ヨング)
医者(精神科医) = Lud van der Garde (ルッド・ファン・ドル・ガルド)

Profile



ティモチャー ド グラーフ
Timothy de Graaf

聴覚障害者
オーストラリア出身
オランダ育ち
アムステルダム滞在

アムステルダムろう福祉施設でアーティスト、漫画家、監督として活動。ビヨルン氏から日本についていろいろ聞いて、いつか日本に行きたいと思っている。



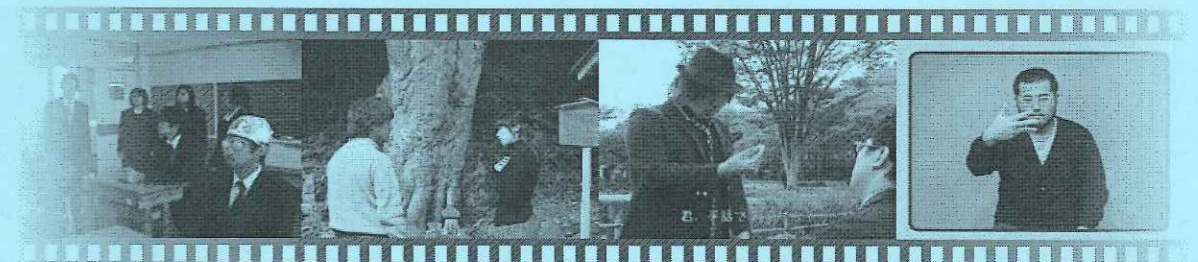
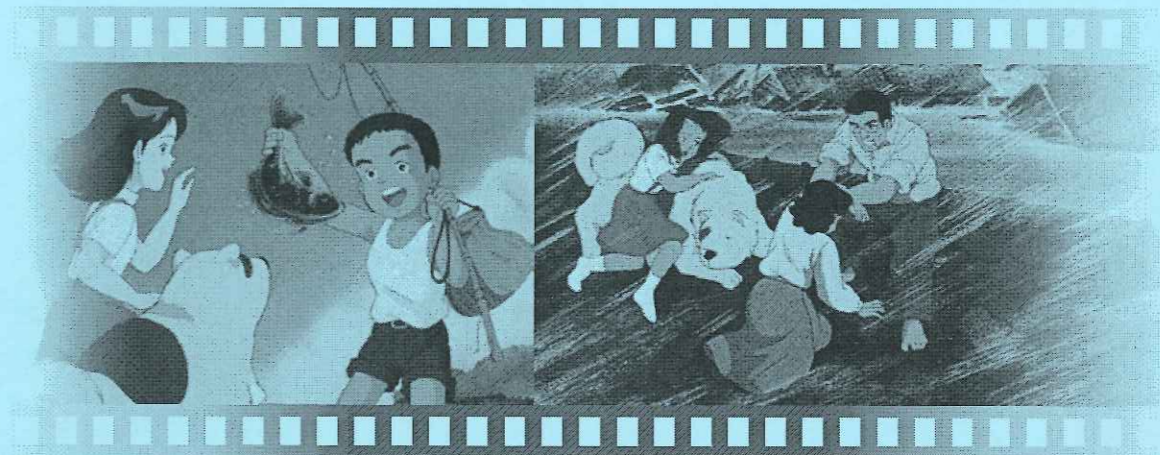
ビヨルン ヴェルベーク 柳ヶ瀬
Bjorn Verbeek-Yanagase

35歳
聴覚障害者
オランダのハーグ滞在
Camedoの会長

4年前に、ティモチャー氏と一緒にCamedoを創建。趣味は、マンガ、ハリウッド以外の外国映画鑑賞、旅行、映画創作。日本人と結婚しているため、毎年日本に来日している。

さかの障害者映像祭

2010年1/30[土] ⇨ 1/31[日]



会場 全国手話研修センター(コミュニティ嵯峨野)

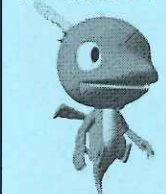
〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4

【主催】 社会福祉法人 全国手話研修センター

【後援】 財団法人 全日本ろうあ連盟

【協力】 特定非営利活動法人 CS障害者放送統一機構

『目で聴くテレビ』は
放送開始 11年目を迎えました!



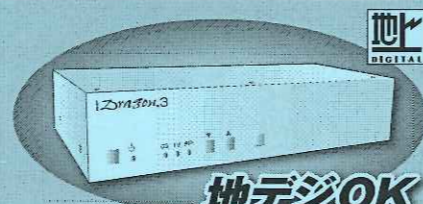
「目で聴くテレビ」は、手話と字幕をつけてさまざまな情報をお届けする聴覚障害者のための放送局です。

特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構
FAX(06)6242-6502 TEL(06)6242-6501
www.medekiku.jp

聴覚障害者用情報受信装置

アイ・ドラゴン3
地上デジタルチューナー内蔵

2010年4月 新発売!!



地デジOK
『目で聴くテレビ』OK

■お申込み・お問い合わせ アイ・ドラゴン カスタマーセンター 〒530-0044 大阪市北区東天満 2-7-12 スターポート
http://www.medekiku.jp
受付時間 平日10:00~18:00 FAX: 06-4801-9316 E-mail: infodragon@media1.astem-co.co.jp

1/30[土]

プログラム

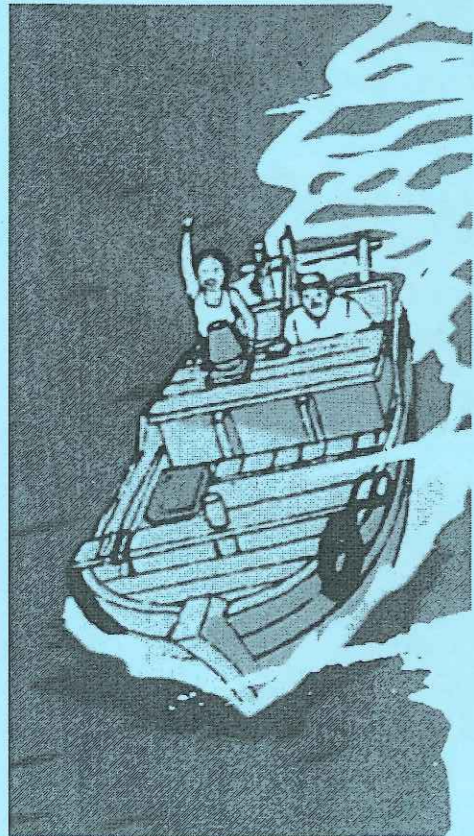
1/31[日]

アニメ映画『伊勢湾台風物語』上映

日本語字幕 & 音声ガイド付き

第1部 ▶ 11:00~13:00

第2部 ▶ 15:00~17:00



昭和34年(1959年)9月26日、名古屋市はいつもと変わらない平和な朝を迎えていた。小学6年の津島ひかりも西沢利夫も楽しみにしていた翌朝の運動会が台風によって中止に決まり、午前中で学校が終わった。家に早く帰ったひかりは愛犬ブチを連れて散歩に出かけた。夕方になると、雨は激しくなり大波が名古屋港にも押し寄せ、ひかりも前に進めないほどの暴風雨に吹きつけられた。午後9時35分、伊勢湾は満潮をむかえ、高波が防波堤を乗り越え、人家へと流れ込んだ。利夫の家も水に沈み、母と妹をかばうものの、利夫も力尽きてしまう。そしてひかりも波にのまれ流されていった。しかしその後にはひかりを必死でおいかけるブチの姿があったのだ。

<スタッフ>

【監督・原作・脚本】 神山征二郎
 【演出】 岩本保雄
 【製作】 瀬戸義昭・山田昭男・伊藤叡
 【企画】 加藤潤一
 【作画監督・キャラクターデザイン】 北崎正浩
 【撮影】 藤田正明
 【音楽】 針生正男
 【美術】 門野真理子
 【編集】 尾形治敏、伊藤勇喜子
 【録音】 明田川進
 【スクリプター】 ヘラルドコーポレーション、
 神山プロダクション
 【制作】 虫プロダクション、未来工業
 【製作・配給】 スペース映像

<声の出演>

【津島ひかり】…… 小山茉美
 【西沢利夫】…… 戸田恵子
 【津島猛】…… 戸谷公次
 【津島千代】…… 山口奈々
 【西沢竜一】…… 堀秀行
 【西沢梅子】…… 鈴木富子
 【西沢渚】…… 杉山佳寿子
 【阿久根忠治】…… 川島千代子
 【阿久根忠雄】…… 秋元洋介
 【徳三】…… 滝雅也
 【今井台長】…… 阪脩
 【熊田校長】…… 北村弘一
 【五十嵐教頭】…… 矢田耕司
 【木村先生】…… 小林通孝

聴覚障害者が制作した 応募作品上映&特別企画

▶ 10:00~16:00

司会 白石弘 (目で聴くテレビ)

応募作品

◎SPRING映画制作委員会
 (代表者:佐藤 剛史)
 『SPRING』(2009年/約20分)

◎松谷 琢也
 『20年目のプロポーズ』(2009年/20分)

◎千葉聴覚障害者センター(代表者:植野 圭哉)
 『あなたが裁判員になったら』(2009年/8分30秒)

◎MoneyIn Group(代表者:内川 大輔)
 『逆の世界』(2009年/7分20秒)

◎伊藤 徹也
 『配られたナイフ』(2009年/約6分50秒)

◎勝山 靖子
 『サテンの女』(2009年/約16分25秒)

◎静岡県立沼津聴覚特別支援学校映像グループ
 (代表者:大村 幸司)
 『アンドロイド サク』(2009年/17分)

◎デフハウスジャパン(代表者:今井 美香、大木 洵人、平田 和)
 『君、手話できるだろ。』(2009年/4分51秒)



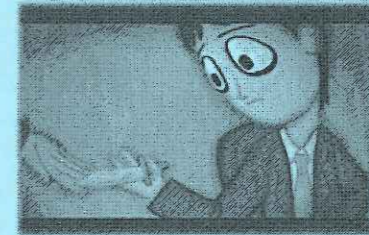
SPRING



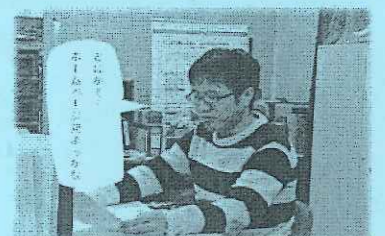
20年目のプロポーズ



あなたが裁判員になったら



配られたナイフ



逆の世界



サテンの女



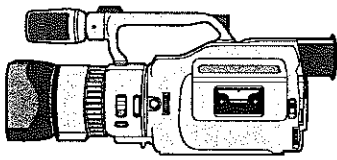
アンドロイド サク



君、手話できるだろ。

審査員

井上 泰治 (映画監督、主な作品に「水戸黄門」ほか)
 池田 和生 (KBS京都 ディレクター)
 津田 正夫 (立命館大学特別任用教授、元NHKチーフプロデューサー)
 横地 由起子 (京都シネマ 支配人)
 浅利 義弘 (財団法人 全日本ろうあ連盟 理事)
 近藤 幸一 (NPO法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 理事)
 松本 正志 (社団法人 京都府聴覚障害者協会 理事)
 阿野 大次郎 (NPO法人 京都市中途失聴・難聴者協会 理事)
 高田 英一 (社会福祉法人 全国手話研修センター 常務理事)



さかの障害者映像祭2010

応募作品 上映プログラム 1/31[日]

スプリング

1. 『SPRING』 (2009年/ドラマ/約20分)

スプリング えい が せい ざく い しん かい
 制作者 SPRING映画制作委員会 (東京都)

◆監督プロフィールおよびコメント: 代表者 佐藤 剛史

2004年『RUN』(東京都盲・ろう・養護学校 第15回総合文化祭・銅賞受賞)

2005年『姉妹の絆』(立川祭ベスト映画賞)

2006年『戌〜いぬ〜』(第3回さかの聴覚障害者映像祭・学生部門賞受賞)

2年ぶりの新作『SPRING』は、社会人と大学生が協力した作品です。

◆作品のテーマ: ラブコメディ

◆作品内容: ある日、罰ゲームで天道(主役)は大学のマドンナ美奈川さんに告白メールを送った。その返事は2人を意外な方向に導いた。本当は45分間のドラマでしたが、さかの障害者映像祭のために20分にカットしました。カットするともったいないシーンばかりありましたが、分かりやすくまとめて作ったので、是非ご覧下さい。

◆撮影機材: SONY (Full HD 1080) ◆編集ソフト: ユーリード (ビデオスタジオ11) ◆音声: なし

ねん め

2. 『20年目のプロポーズ』 (2009年/ドラマ/20分)

まつ たに たく や
 制作者 松谷 琢也 (奈良県)

◆監督プロフィールおよびコメント:

1975年生まれ。ろうの漫画家。

1990年『毎日中学生新聞』でデビュー。現在無料WEB雑誌『てんてる20号』より『響』(デフ)連載中。

→ http://texpo.jp/texpo_book/toc/4249/

◆作品のテーマ: メールもFAXもなかった時代のろうのカップル

◆作品内容: 転勤により東京に行かなければならなくなったたーくん。たーくんは愛子にプロポーズをするが…。あるすれちがいにより2人の運命は…。神のいたずらか?

◆撮影機材: SONY (2003) ◆編集機材: VTR (Panasonic (2008))・PC (eMachines (2008)) ◆音声: なし

さい ぼん いん

3. 『あなたが裁判員になったら』 (2009年/ドキュメンタリー/8分30秒)

ち ば ちやう かく しやう がい しや
 制作者 千葉聴覚障害者センター (千葉県)

◆監督プロフィールおよびコメント: 代表者 植野 圭哉

20分に収めるのに苦労しました。結局8分になりました。

◆作品のテーマ: 裁判員制度における情報保障のあり方について(模擬裁判)

◆作品内容: 裁判員制度の開始に伴い、千葉県では年間3人程と予想される聴覚障害者が裁判員に選ばれる可能性に対して、千葉聴覚障害者センターは模範裁判を試行し、弁護士意見を聞き、法廷用語手話を啓蒙する活動を行う。これを紹介し、新しい制度に向かう連帯を訴える。

◆撮影機材: Panasonic (AG-VHX200) ◆編集機材: PC (HP xw8400) ◆編集ソフト: Canon (EDIUS Pro4) ◆音声: なし

ぎやく せ かい

4. 『逆の世界』 (2009年/ドラマ/7分20秒)

マネーイン グループ
 制作者 MoneyIn Group (京都府)

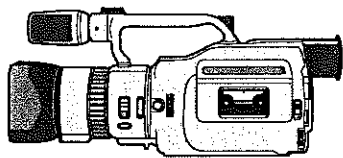
◆監督プロフィールおよびコメント: 代表者 内川 大輔

たった一つの映像世界をつくりました。感じ方は様々ですが、とにかく楽しんでほしいです。

◆作品のテーマ: 聞こえる人が問合せできない不便を映し出した世界です。

◆作品内容: 聞こえない人があることをネットで調べようとしても、ほとんどが電話番号のみで問合せできないということが多くあります。そこで聞こえる人でも問合せすらも出来ないという世界があったら面白いでしょう。そんなシュールな世界です。

◆撮影機材: Panasonic (DVX100B) ◆編集機材: PC (Express5800) ◆編集ソフト: Adobe (Premiere Pro) ◆音声: DV方式/フル音声



さかの障害者映像祭2010

応募作品 上映プログラム 1/31 [日]

5 『^{くば}配られたナイフ』 (2009年/アニメ・CG/約6分50秒)

制作者 ^{いとう てつや}伊藤 徹也 (大阪府)

◇監督プロフィールおよびコメント:

某ゲーム会社に3DのCGデザイナーとして勤務。
趣味で短編映画やアニメ作品、四コママンガの製作等をしています。

アニメ作品って絵を描くのが大変ですが、あまり動きの無い短い作品なら、比較的短期間で作ることができそうです。また、下手な絵でも、アニメにすると、キャラクターが生き生きしてきて作るのも楽しくなったりします。この作品が、これくらいなら自分でも作れそうだな、作ってみようかな、というきっかけになれば嬉しいです。

◇作品のテーマ: コミュニケーションが面倒になることがある人に対する戒め

◇**作品内容:** 耳の間こえない主人公が仕事をしていると、定時間際、突然上司からナイフを渡される。何のために使うものなのか聞こうとするが、なかなか聞くことができません…。

◆編集機材: PC (自作) ◆編集ソフト: Adobe (Aftereffects) ◆音声: なし

6. 『^{ひと}サテンの女』 (2009年/ドラマ/約16分25秒)

制作者 ^{かつ やま やす こ}勝山 靖子 (京都府)

◇監督プロフィールおよびコメント:

2008年『手話刑事』(30分) 初監督作品

今回は主要メンバーでストーリーを考えて、台詞はアドリブで進めるという実験的な試みをしました。
生々とした表情が撮れたと思います。

◇作品のテーマ: 店主と客人のあたたかい交流

◇**作品内容:** ろう者の女性店長が営むある喫茶店。いつもの様に通う常連客たち。ある日、常連のひとり花田さんが地元のマラソン大会に参加、そのスタート前に店のトイレを借りにやって来た。みんなの声援をうけて走りだす花田さんであったが…。

◆撮影機材: Panasonic (NV-SG 200K) ◆編集ソフト: ジャストシステム (Mega Vi DV2) ◆音声: あり (DV方式/フル音声)

7. 『アンドロイド サク』 (2009年/ドラマ/17分)

制作者 静岡県立沼津聴覚特別支援学校映像グループ (静岡県)

◇監督プロフィールおよびコメント: 代表者 ^{おおむら こうじ}大村 幸司

撮影をする時間が思ったより少なく、締め切りに間にあつか心配でしたが、放課後などの時間を使って編集をし、なんとか終わらせることができました。映画が好きで、初めて作りましたが、納得いく作品に仕上がってよかったです。

◇作品のテーマ: 友情

◇**作品内容:** 天才少年アキラが聴覚障害者通訳ロボット サクを作った。サクが笑わない姿を見て何とか笑わせようとする。そのうち教師より試験告知を受けるが勉強していないアキラはサクに答えを強要するがサクは応じない。2人は喧嘩になる。周りの生徒が2人を仲なおりさせる姿を通して友情を深めていく。

◆撮影機材: Panasonic (NV-GS200) ◆編集機材: PC (FUJITSU-FMV) ◆編集ソフト: MSムービーメーカー (ver. 2.1) ◆音声: あり (ステレオ)

8. 『^{きみ しゅ わ}君、手話できるだろ。』 (2009年/ドラマ/4分51秒)

制作者 デフハウスジャパン (神奈川県)

◇監督プロフィールおよびコメント: 代表者 今井 美香、大木 洵人、平田 和

【今井美香監督】個人的に中3の時から映像制作をはじめ、今、大学の中にある映像研究ゼミで勉強中。
★今回ははじめて聴者と一緒に考えて制作したショートムービーです。

◇作品のテーマ: 手話を学ぶ者

◇**作品内容:** 手話通訳者が「手話ができる」という自信を持ちすぎている、手話に対する誤った知識を持っている。手話通訳者がある不思議な男性と出会い、その男性に歩いてついていく。この先は一体何があるのだろうか。

◆編集ソフト: ユーリード10 ◆音声: なし